

巻頭インタビュー

再び宮城へ

～東日本大震災で被災、

宮城との絆を深めて～



スティーブ・コルベット さん
アメリカ合衆国出身
宮城県国際交流員(CIR)

今回の倶楽部MIAの巻頭インタビューは、2015年7月に宮城県の国際交流員(CIR)に着任されたスティーブさんです。

——ご出身は、カリフォルニア州そうですね。

ロサンゼルス市とサンディエゴ市の中間に位置する、アーバイン市出身です。住宅が立ち並び閑静な街です。気候は温暖で、晴れの日が多く、雨の日は年間10日程度。ショッピングモール、映画館などの施設が充実していて生活しやすく、子育てには最適です。ディズニーランドにも近く、車だと実家から20分程度で着くので、何十回も行きました。全米有数の治安の良さでも知られていますが、夜10時を過ぎて高校生が外出して遊んでいると、警察官に職務質問されるような環境なので、「つまらない街だな」と思った頃もありました。

——ご家族やご自身について、教えていただけますか？

父、母、2歳上の兄、私、2歳下の妹の5人家族です。父方、母方ともに親族は100年以上前から、カリフォルニア州内で生活していますが、歴史を遡ると、父方はアイルランド、母方はイタリアとアイルランドの血を引いています。私自身は、小さい頃から腕白で、体を動かすのが大好きな子どもでした。4歳から高校を卒業するまで野球をやっていました。打ったら全力で走り、守れば捕るのが難しい球も必死で追いかけるタイプでしたね。高校時代には、アメリカンフットボールのチームにも入っていました。

——どうして日本に興味を持たれたのでしょうか？

実家の近所に住む日本人の幼なじみの勧めで、地元の大学在学中に日本語を学び始めたのが日本に深く触れるきっかけとなり、20歳の時の初来日で衝撃を受けました。東京に2週間滞在したのですが、高層ビルや発達した交通網など大都会の姿に魅了されました。どこに行っても漢字という世界も、外国っぽくていいなと思いましたね。それで、地元の大学を卒業した後、東京都内にあるテンプル大学日本校で国際関係学を専攻しましたが、ほとんど英語で講義を受けられたので、日本語は思ったほど上達せず、日本人の本当の生活に触れるような機会もありませんでした。

——そして、宮城へ来られるわけですね。

もっと日本語や日本文化をよく知りたい、自分の国の文化も伝えたいと思い、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(JETプログラム)に応募しました。石巻市教育委員会に配属され、2009年7月から3年間、外国語指導助手(ALT)として、市内の小学校や高校、公民館などで英語を教えま



2010年9月に、ALT仲間と福島県の松原湖でカヌーを楽しんだ時の写真。一緒に写っているのは、津波の犠牲になったテイラー・アンダーソンさん。

した。最初は緊張しましたが、もともと子どもが好きなので、すぐに慣れて楽しくなりました。高校の部活動に参加し、弓道、空手、卓球などのスポーツを生徒と一緒に楽しんだのも懐かしい思い出です。

——その間に、東日本大震災に遭われました。

3月11日は仕事が休みで、地震が発生した時は、車で蛇田地区にある大型スポーツ用品店に向かっていた。突然、携帯電話の緊急速報の警告音が鳴り、車を止めたら、激しい揺れに襲われました。しばらくしてラジオを付けたら、津波が来るということで、河南地区の丘の上に車で移動し、逃げて来た他の人達と4、5時間そこにいました。夜8時頃に蛇田中学校に車で向かい、そのまま1週間、ALT仲間を含む大勢と一緒にそこで寝泊まりしました。

——その後は、どうされたのでしょうか？

余震や放射能に関する心配から、いったんアメリカに帰ったものの、4月上旬には石巻に戻りました。生徒も友達もいる石巻を見捨てることはできないと思ったからです。門脇地区にあるマンション2階の自宅は、津波で1階が浸水して電気もガスも使えませんでした。その状態で2ヶ月近く生活しました。隣は、津波の犠牲になったALT仲間のテイラー・アンダーソンさんの部屋でした。テイラーさんとは、一緒にカラオケに行ったり、食事をしたりと親しくしていたので、事実を知った時には大きな喪失感を覚えました。

——これからの抱負を教えてください。

私だけでなく、私の日本人の友達や知り合いの先生も、身近な人を震災で失いました。震災は計り知れない悲しみをもたらしましたが、一方で、私自身は被災して宮城への絆を深めた面もありました。蛇田中学校での1週間の生活、職場や近所で無事を確かめ合った体験などを通して、地域の人々と不安な気持ちや再会の喜びを共有し、私は真に宮城の人になった気がしました。そうした思いから、CIRに応募する際には、私の能力や経験、特にこれまでに培った日本語力を宮城のために活かしたいと、再びここで働くことを強く希望しました。宮城は緑が多く、魅力的な観光地もたくさんあります。今後は、観光や復興に関係する翻訳、通訳をすることで、愛する宮城の元気な姿を世界にアピールしたいと思います。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2015年12月～2016年1月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2015	S	M	T	W	T	F	S	2016	S	M	T	W	T	F	S
	12			1	2	3	4	5	1					1	2
	6	7	8	9	10	11	12		3	4	5	6	7	8	9
	13	14	15	16	17	18	19		10	11	12	13	14	15	16
	20	21	22	23	24	25	26		17	18	19	20	21	22	23
	27	28	29	30	31				24/31	25	26	27	28	29	30

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方 人:主催 田:会場 時:時間 申:申し込み 料:参加費 電:電話 FAX:FAX E:Eメール HP:ホームページ

12月 DECEMBER

12月 毎週日曜日
瑞巖寺ボランティアガイド
 人 松島善意通訳者の会
 田 瑞巖寺
 時 10:00～15:00
 現地向直接
 料 入場料700円は自己負担
 電・FAX 022-354-3678(大浦)
 E hoshido_mutsuo@ybb.ne.jp
 HP http://www.geocities.jp/matsushimagw/

12月 毎週日曜日
円通院ボランティアガイド
 人 松島善意通訳者の会
 田 円通院
 料 入場料300円は自己負担
 電・FAX・HP ※瑞巖寺と同じ

2日
第44回仙台YMCAクリスマス
 人 公益財団法人仙台YMCA
 田 仙台市民会館 展示室
 時 18:00～20:30
 不要。問い合わせは、仙台YMCAへ。
 料 留学生無料、一般1,000円、学生(中学生以上)500円、小学生以下300円。
 電 022-222-7533
 FAX 022-222-4651
 E info@sendai-ymca.org
 HP http://sites.sendai-ymca.org/xmas/

4日
東北日本カナダ協会 クリスマスパティー2015
 ～東北復興支援チャリティー～
 人 東北日本カナダ協会
 田 ホテルメトロポリタン仙台 4階「千代」
 時 17:30開場、18:00開会、20:00終了
 要(電話・FAXで、氏名、連絡先をご連絡下さい)
 料 会員(本人・家族)/カナダ人5,000円、非会員7,000円、高校生以下2,000円
 電 022-799-6061
 FAX 022-799-8390
 HP http://www.tohoku-canada.org/

6日
韓国料理教室(白菜キムチ作り)
 人 韓国料理仙台チーム
 田 仙台国際センター 研修室B
 時 16:00～18:00
 電話・FAX(12月3日まで)
 料 1,000円
 電 080-5009-4181または022-251-5115
 FAX 022-251-5115
 E k.s.5482@ezweb.ne.jp

12日
映画上映会「ふしぎな石～ガザの空:戦場のガザで奇跡が起きた」(フィクション)
 人 宮城県ユニセフ協会

田 せんだいメディアテーク スタジオシアター
 時 ①10:30～②13:00～③15:00～
 要(電話・FAX・メール)
 料 無料
 電 022-218-5358
 FAX 022-218-5945
 E sn.municef_miyagi@todock.jp
 HP http://www.unicef-miyagi.gr.jp

16日
申請取次行政書士による外国人のための入管
手続無料相談会
 人 宮城県行政書士会
 田 仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場
 時 13:00～16:00
 電話受付または予約なしでもOK
 料 無料
 電 022-261-6768
 FAX 022-261-0610

19日
外国人のためのVISA・生活無料相談会
 人 NPO法人 ビザ&ライフサポートインみやぎ
 田 大崎タイムス社
 時 11:00～14:00
 電話にて、当日直接も可能。
 料 無料
 電 090-7937-6716
 FAX 022-358-1250
 HP http://www.visa-life-support.jp/

20日
CCE勉強会
 人 地球の子ども通信(CCE)
 田 未定
 時 10:00～12:00(予定)
 電・FAX 022-376-5382
 E nra55237@nifty.com

クリスマス家族交流会
 人 国際サークル友好21
 田 石巻中央公民館 大ホール
 時 10:00～13:30
 要(12月18日までに電話・FAX)
 料 無料
 電 0225-23-2863
 FAX 0225-23-2865

留学生交流会
 人 公益社団法人仙台ユネスコ協会青年部
 田 仙台国際センター 交流コーナー
 時 13:00～17:00頃(12:30集合)
 要(12月6日までに、メールで、①氏名、②大学名、③メールアドレスをご連絡下さい。定員50名)
 料 500円
 電 022-224-2581
 FAX 022-302-3406
 E u.sendai.gakuseibu@gmail.com
 HP http://www.unesco.or.jp/sendai/

1月 JANUARY

17日
平成27年度国際協力セミナー
「日本の介護と世界の介護
～介護から見える世界との繋がり～(仮)
 人 公益財団法人宮城県国際化協会
 独立行政法人国際協力機構東北支部
 田 エル・ソーラ仙台 大研修室
 時 13:30～15:30(予定)
 要(FAX・メールに、①名前、②職業、③連絡先を明記し、1月14日までに申し込み下さい)
 料 無料
 電 022-275-5540(JICA宮城デスク)
 FAX 022-272-5063
 E jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp

アジアンフェア「アジアの国々の文化と料理」
 人 地球の子ども通信(CCE)
 田・時 未定
 電・FAX 022-376-5382
 E nra55237@nifty.com

20日
MIA日本語サポータービギナー研修会
 人 公益財団法人宮城県国際化協会
 田 宮城県国際化協会 交流ラウンジ
 時 13:00～16:00
 要(電話・メール)。定員20名(先着順)。
 料 無料
 電 022-275-3796
 E mail@mia-miyagi.jp

申請取次行政書士による外国人のための入管
手続無料相談会
 人 宮城県行政書士会
 田・料・電・FAX・HP ※12月16日と同じ

21日
アフリカからの人類の旅～その多彩な軌跡
 人 アフリカ・セミナーの会
 田 仙台国際センター 研修室
 時 10:00～12:00
 不要
 料 700円
 電・FAX 022-362-7907

24日
“あそびさございん”七ヶ浜deお正月
 人 七ヶ浜国際交流協会
 田 七ヶ浜国際村
 時 12:00～14:00
 不要
 料 入場無料(一部有料の出店あり)
 電 022-357-5931
 FAX 022-357-5932
 E sia.kenshubu@gmail.com



MIA日本語サポータービギナー研修会

日本語を学習したい外国人にマンツーマンで日本語を教えるボランティア活動について基礎から学ぶ研修会です。日本語サポート活動を始めてみたい方、登録はしてみたけれど実際どうしていいかわからないというビギナーの方々にお勧めです。

- 日時：2016年1月20日(水) 13:00～16:00
- 場所：宮城県国際化協会 交流ラウンジ

■内容：地域の国際化と日本語ボランティア活動について、外国語としての日本語、やさしい日本語について、日本語学習教材の紹介など

- 講師：鈴木英子氏 (MIA日本語講座スーパーバイザー)
- 定員：20名 (先着順)
- 申込：MIAまで電話またはEmailにて。

※参加はMIA日本語サポーター登録者に限ります。未登録の方は事前にMIA日本語サポーターへの登録をお願いします。

平成28年度MIA日本語講座講師募集のお知らせ

本協会が主催するMIA日本語講座では、平成28年(2016年)4月からの授業を担当する講師の募集を行います。

- 募集講師：MIA日本語講座初級1または初級2クラス(昼・夜)を担当する方、若干名
- 応募資格：日本語教育能力検定に合格している方または420時間の日本語教師養成講座を修了している方でクラス形式の教授経験のある方

■委嘱期間：平成28年(2016年)4月1日から平成29年(2017年)3月31日まで

(委嘱期間は1年ですが、更新する場合があります)

■選考方法：①指定の課題について教案を作成し、申込時に提出。②提出の教案を基に模擬授業。

■申込締切：平成28年(2016年)1月15日(金) 必着

■お問合せ：委嘱条件や教案の課題等詳細についてはMIAまで



※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)

TEL.022-275-5540 E-mail jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

JICA宮城デスクからのお知らせ JICA東北公式Facebookでも情報発信中!

平成27年度教師海外研修に宮城県から10名の先生方がパラグアイとルワンダに派遣されました!

JICAでは毎年、小学校・中学校・高等学校等の先生方を対象に、開発途上国における国際協力の現場を視察し、その経験・素材を活かした開発教育実践のための研修を実施しています。

今年度のJICA東北支部の教師海外研修では、去る7月下旬～8月上旬にかけて、昨年同様パラグアイとルワンダへ、青森、秋田、岩手、山形、宮城各県から、計14名(パラグアイ7名、ルワンダ7名)が派遣されました。

僅か20年程前、100日間で80万人もの死者を出した大虐殺を経験したルワンダ、そして東日本大震災の際に私たちに大豆を支援して下さった日系移民の人々が住むパラグアイ。何れの国でも、派遣された先生方は、現地の人々や現地で活動するJICAボランティアとの触れ合いを通し、「日本の子ども達に伝えたい」沢山のことを学ばれたようです。先生方は、現地で学んだことをもとにオリジナルの授業案をつくり、まさに現在その授業を実践しているところです。(授業の様子はJICA東北のHPからご覧いただけます。)

JICA東北支部では、12月12日(土)、13日(日)に事後研修・報告会を開催し、開発教育ワークショップなど一部プログラムの一般公開を予定しています。詳しくは、JICA東北のHP「イベント情報」を随時ご確認ください。開発教育や国際協力にご興味をお持ちの皆さんのご参加をお待ちしています!

●教師海外研修「事後研修・報告会」

■日時：12月12日(土)、13日(日)

※一般公開の時間はJICA東北のHPでご確認ください。

■場所：第一生命タワービル11階会議室(予定)



鮮やかな民族衣装を着て歓迎の踊りを披露してくれたパラグアイの子供たち



平成27年度国際協力セミナー「日本の介護と世界の介護～介護から見える世界との繋がり～(仮)」開催のお知らせ

今年で開催15回目となる国際協力セミナー。今回は、日本だけでなく世界が直面している社会問題「介護」にスポットを当て、宮城県内の福祉分野の専門家をはじめ、県内で活躍する外国人介護施設職員、そして途上で介護に携わった元JICAボランティア等をお迎えし、介護から見える世界との繋がりを通し、これからの「介護」について考えます。

- 日時：2016年1月17日(日) 13:30～15:30(予定)
- 会場：エル・ソーラ仙台 大研修室
(宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 アエル28階)
- 主催：公益財団法人宮城県国際化協会
独立行政法人国際協力機構東北支部

- 定員：50名(要予約)
 - 入場料：無料
 - 申込方法：E-mailまたはFAXにて必要事項(名前、ご職業、連絡先)を明記の上、お申込みください。
 - 申込締切日：2016年1月14日(木)
 - お問合せ：JICA宮城デスク
電話番号：022-275-5540 FAX：022-272-5063
E-mail：jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp
- ※詳細は、宮城県国際化協会 (<http://mia-miyagi.jp/>) または JICA東北支部 (<http://www.jica.go.jp/tohoku/>) のHP「イベント情報」にて随時掲載予定です。

みやぎのふるさとふれあい事業 ～利府町編～

当協会では、県内の市町村と協力し、「みやぎのふるさとふれあい事業」を実施しています。県内に暮らす外国出身者に、地域の伝統行事、施設見学、ホームステイを体験する機会を提供し、宮城県への理解を深めてもらうことが目的です。参加者は留学生等で、普段あまり行く機会のない地域を訪問し、日本文化を身近に感じることができることから、例年、参加者から「もっと期間を長くしてほしい」、「町の人のおもてなしに感動しました」など、好評をいただいております。

今年度は、美里町(10/3～4)、利府町(10/10～11)、村田町(10/11)の3町で実施されました。そのうち、利府町のプログラムには、7ヶ国・地域の11名の外国人が参加しました。新幹線車両基地内の新幹線車内で昼食をとったり、名産の梨狩りをしたり、郷土資料館やひとめぼれスタジアム宮城など地域の施設を見学したりしました。ホームステイも行われ、参加者は受入家庭の方々々と生活をともにすることで、交流を深めました。

この事業は、毎年7～8月頃に参加者を募集しています。実施する市町村、日時、人数などの詳細な情報につきましては、当協会のホームページやFacebookに掲載します。ご家族やお知り合いに、宮城をもっと楽しみたい外国出身者がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。



ホストファミリーと一緒に。



梨狩り体験の後、皮むきに挑戦。誰が1番上手にむけたでしょうか？

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

『生徒の生き方が変わる グローバル教育の実践』 著者:石森広美

貧困、人権といった世界規模の問題や他国の文化、現状などについて学ぶ国際理解教育についてまとめた本です。著者の石森広美さんは、長年、その実践に取り組んできた宮城県内の公立高校の教員。3章に分かれていて、1章では、生徒の感想や意見、2章では高校での様々な取り組みの例や手法、3章では著者ら宮城、青森の4人の教員が実践に至ったきっかけやその意義が紹介されています。

2章では、英語、世界史といった教科内での取り組みの他、多様性を尊重し、自己や他者への理解を深めるその理念を、学級運営やホームルーム活動に活かす手法など豊富な実践例が載っていて、国際理解教育について多角的に知ることができます。同じ章には、高校時代にそうした教育を受けた16人が、当時の生活やその後の進路について綴った文章もあり、海外の問題に目を向け、視野を広げることで、それぞれが部活動や友人関係の悩み、東日本大震災での被災といった困難を乗り越え、成長していった姿が垣間見えます。

平易な言葉が多く用いられ、こうした分野になじみがない方にも読みやすいので、教育関係者以外の方々にもぜひ手に取っていただきたい1冊です。



賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円
- 賛助会員の特典
◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)

- ◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引(株)JTB東北仙台支店 宮交観光サービス(株)
- ◎企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供
- 入会方法
◎本協会あて御連絡ください。
所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 **MIA** vol.82

編集・発行 公益財団法人 宮城県国際化協会
 〒981-0914
 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
 宮城県仙台合同庁舎7階
 TEL 022(275)3796
 FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL <http://mia-miyagi.jp/>